

わいわいひろば おすすめ絵本のたより

第8号 2026年9月16日 作新学院大学短期大学部



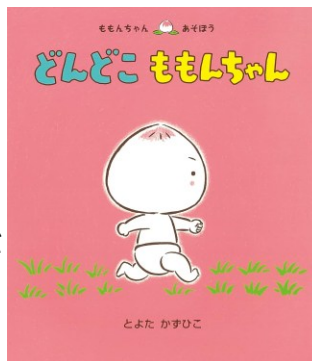
絵本の世界で、親子で遊ぶ

作新学院大学短期大学部 准教授
穴戸 良子

仕事柄、さまざまな絵本に触れる機会がありますが、子育てを経て特別な一冊になったのが、とよたかずひこさんの『どんどこももんちゃん』(童心社)です。おむつ姿のももんちゃんが「どんどこどんどこ」と走り、谷を越え、山を越え、熊さんにも勇気を出して立ち向かいます。転んで泣いても前へ進み、最後は大好きなママのもとへ「どーん」と飛び込み、抱っこされます。

わが家でも、1歳だった娘のお風呂上がりの姿がまさにももんちゃんそのもの。「〇〇ちゃんが急いでいます！」と声をかけ、クッションで坂道を作ると、走る、ハイハイで橋を渡る、熊と闘う、転ぶ……と、絵本の世界を全身で楽しみ、最後はぎゅーっと抱き合う——そんな遊びを何度も親子で楽しみました。

保育現場でも絵本から表現遊びや劇遊びへ発展することがありますが、娘がその楽しさと絵本の魅力を教えてくれました。ビリビリに破れてもつなぎ合わせて読み込んだ、かけがえのない一冊です。



「おやさいどうぞ」

きのしたけい 作
阿部真由美 絵
コクヨ

ページをめくりながら野菜の名前や形に親しむことができ、これらのお野菜を使って何ができるのかな…？とワクワクする仕掛け絵本です。

『おやさいどうぞ』は、絵本を通してやりとりを楽しめる仕掛け絵本です。私がおすすめしたい点は、野菜の色や切る音に親しみを持って聞くことができることです。仕掛けをめくるという楽しさもあり、最後まで飽きずに見ることができます。実習等で読み聞かせをすると、子どもたちは「にんじん！」「トマト！」など知っている野菜を嬉しそうに言ってくれる場面がありました。月齢が大きくなると、実際に野菜を切る真似をして楽しむ姿も見られると思います。

この絵本は、特に1.2歳の子どもにおすすめで、言葉のやりとりやごっこ遊びに興味をもち始める時期にぴったりだと思います。親子で一緒に「トントン」「美味しそうだね」とやりとりを楽しみつつ、食育につながる内容でもあるため、野菜に興味を持ってほしいときの読み聞かせにも適していると思います。少しでも絵本選びの参考になれば嬉しいです。

2年 仙波真友子

「がたんごとんがたんごとん ざぶんざぶん」

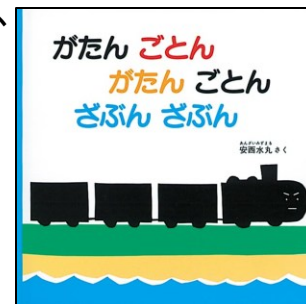
安西水丸 作
福音館書店

私が紹介したい絵本は安西水丸作『がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん』です。海辺を走る電車にユニークなお客さんが次々と乗り込んでいくお話で、「がたんごとん」「ざぶんざぶん」という繰り返しの言葉が心地よいリズムを作ってくれます。

選んだ理由は、0～2歳児の心を一瞬でつかむ言葉の響きと、分かりやすい絵の魅力にあります。読み聞かせではお子様を膝に乗せてガタゴトと揺れながら読むのがおすすめです。絵本の世界に自然と引き込まれ、電車や果物を嬉しそうに指差したり、「がたんごとん！」と一緒に言葉を真似したりする可愛いらしいリアクションが見られるはずです。

0歳児は音とシンプルな絵を五感で楽しみ、1～2歳児は真似っこやおしゃべりの練習にもぴったり。電車好きなお子様はもちろん、初めての読み聞かせにもおすすめです！「まだ絵本は早いかな？」と思っている保護者の方にこそ、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

2年 郡司百花



- ☆ 作新学院大学短期大学部で保育を学ぶ短大生達がおすすめの絵本を紹介します。
- ☆ わいわいひろば開催日には、図書館にてキッズスペースを設けています。
- ☆ 作新学院大学図書館では、一般の方も絵本や本を借りることができます。
- ☆ 本を借りる手続き方法などをお知りになりたい場合は、お気軽にスタッフまでお声かけください。